

競技上の注意事項について（選手用）

（１） 全体的な注意事項について

1. 競技中は、安全作業に努め、また必要に応じて選手同士の安全確認を行うこと。「危険作業」と審査員が判断した場合は、競技を「中止」させ、「失格」させることがありますので注意して行ってください。また、2人一組となっていくしますので、安全確認の声は、必ず！！掛合ってください。
上記の事を忘れた場合には、加点されない。
2. 競技中、点検作業（作業内容、作業方法、点検結果を含む）の結果などについては、審査員のみにはっきり聞こえるように声を出して作業を進めること。上記の事を忘れた場合には、加点されない。
3. 競技中に、審査員から注意を受けた場合は、その指示に従って下さい。指示に従わない場合には、「競技中止」となる場合があります。
4. エンジン始動(クランキング含む)は、絶対に行わないでください。行った場合は、「失格」となる場合があります。
5. 競技中、質問などが有れば審査員に聞いても良いが、質問内容によっては「答えられません」などの解答が出ることもあります。その場合は、考えて作業をすること。
6. 競技問題の封筒は、破損しないようにし、競技終了後は封筒内に入っていたものは全て戻して審査員へ渡してください。
7. 問題用紙内の「チーム名」記入欄は、該当する ~ の何れかのチーム名を記入すること。
8. 実車競技/基礎競技からアドバイザー競技へ移項した場合、再び実車競技/基礎競技へ戻ることはできない。よって、実車競技/基礎競技時に使用した工具機器類などの片付けもできないため、段取りに注意すること。
9. 今回は、エンジンキーのみを使用しての競技を行います。また、ドアロックについては、常時アンロック状態で競技を行います。
10. 競技車両の左リヤドアガラスを下げたままにしてありますが、故障設定ではありませんので、そのままにしておいてください。
11. 実車競技/基礎競技終了後、アドバイザー競技へ移項する前に、必ず審査員に申告すること。
なお、競技開始後35分経過(残り時間5分)した時にアドバイザー競技に入っていないチームは、強制的にアドバイザー競技に移ります。
12. 競技のために行われる思考時間・打合せ時間の対応については、競技時間中に行ってください。

(2) 実車競技 1年点検競技の内容について

1. 別途作成する、1年点検(12ヶ月)の記録簿を使用し、全ての項目を点検しなさい。ただし、記載のある項目は点検実施済みとする。
2. 競技車両は、ジャッキアップ及びジャッキダウン作業はしなくて良い。
3. 競技時に、フェンダーカバー・シートカバー・足マットなどは、必ず!!最初に競技車両に取り付けてから、作業を行うこと。また、点検作業時には作業灯を状況に応じて使用すること。もし、上記の事を忘れた場合には、加点されない場合があります。
4. 点検時は、状況に応じて作業用手袋(軍手)を着用し作業を行うこと
5. 競技車両の構造・点検方法などは、「選手説明会ファイル・定期点検の手引き」などを参照すること。
6. 記録簿上の点検結果及び整備結果の記録は、その記録簿の記入方法の例を参照して(今回は添付してありません)記入すること。指示された方法以外の記入があった場合は、加点されない。
7. タイヤの溝、ブレーキペダルの遊びなど、記録簿上に測定および記入項目が有る場合には、測定機器を用いて測定し、記入をすること。なお、数値記入項目がない点検項目でも、測定機器を使用し点検すること。もし、測定機器を使用せず、目視などで記録簿に記入した場合には、加点されない。
8. 空気圧が規定値若しくは規定値よりも高いタイヤは、適正な空気圧であるとしします。
9. タイヤ・ホイール、ディスクキャリパーおよびブレーキドラムについては、取り外さない(分解しない)で競技を行うこと。
10. 冷却水の漏れ点検は、エンジン停止状態で、目視にて点検してください。
11. 点検項目上での、特殊機器(エアゲージ等)などを使用する場合には、取扱いに注意して作業をすること。
12. 点火時期、アイドル回転数、ブレーキ分解および走行テストの点検については、省略します。
13. 点検作業中、不良箇所を発見した場合には、先ず口頭にて審査員へ報告してください。その後の指示に従い記録簿へ記入してください。その際、審査員より指示があれば、その指示に従ってください。
14. 車両のバックドアは競技中、開けないようにしてください。

(3) アドバイザー競技 進行方法について

1. 選手2名のうち、お客様(審査員)と話せるのは、アドバイザー役の選手1名のみで、補佐選手1名は、お客様と直接会話をすることは出来ません。
なお、競技中はアドバイザーの選手と補佐選手は、適時会話・打ち合わせが可能です。
2. 点検整備記録簿をお客様(審査員)に向けての説明はありません。
3. 着座にて競技を行い、競技車両へ移動しての説明はありません。
4. 交換部品等の提示はありません。
5. 整備料金、整備保証の説明はありません。

(4) 基礎競技 故障診断について

1. 基礎競技は、審査員への申告後に問題を始めてください。
2. 基礎競技において、用紙に記入するときは、適切な語句などを記入すること。もし、間違った語句を記入した場合には、加点されない。
3. 使用する診断機器については、各自持参したスキャンツールを使用して行ってください。
もし、スキャンツール等に不具合が発生した場合には、速やかに審査員に知らせてください。
4. 競技中に不明な点があった場合には、必ず審査員に申し出てください。

(5) 競技開始時時の審査員・選手の配置について

